

研究機関: 広島大学

研究課題名	3.0T MRによる腎腫瘍の偽被膜の評価
研究責任者名	広島大学 医系科学研究科 放射線診断学 教授 栗井 和夫
研究期間	令和 2(2020)年 12月 7日(倫理委員会承認後)～ 令和 8(2026)年 3月 31日
対象者	令和 2(2020)年 12月から令和 8(2026)年 3月の間に、広島大学病院にてMR 検査が行われ、その後手術にて腎腫瘍と病理診断された患者様さん。
意義・目的	<p>腎腫瘍の辺縁には、手術後病理診断で確認できる偽被膜という構造が形成されることがあり、この構造が保たれていれば腫瘍の浸潤傾向は乏しく、局所の深達度を判定する有用な因子と考えられています。術前にこの構造が保たれていることが分かれば、低侵襲な部分切除術が安全に行うことができる可能性が高く、治療方針を判断するのに役立つといわれています。</p> <p>本研究の目的は、当院の 3.0T MR を用いて術前に撮影した腎腫瘍の偽被膜を評価し、手術後の病理像と比較して、MR による腎腫瘍の偽被膜の描出能を明らかにすることです。</p>
方法	<p>本研究は、手術前に撮影した MR などの画像検査を評価し、診療録(カルテ)の情報を転記して行います。カルテから転記する内容は身長、体重、性別、血液検査(血清 Ca、血清 LDH、CRP 等)、病理診断等です。(個人が特定出来る情報は転記しません)</p>
試料・情報の管理責任者	広島大学 医系科学研究科 放射線診断学 教授 栗井 和夫
個人情報の保護について	<p>調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。</p> <p>* 研究にデータを提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。</p>
問合せ・苦情等の窓口	<p>〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel:082-257-5257 広島大学 医系科学研究科 放射線診断学 共同研究講座 准教授 本田 有紀子</p>